

## 今後の検討事項

### 1. 次年度のモデル調査実施に向けた検討事項

#### 1.1 今後の海岸清掃の方法について

##### (1) 共通調査

調査枠を使用した共通調査では、海岸方向と内陸方向にそれぞれ分布の偏りと時間変化はみられており、ゴミの分類においては流木・灌木が多い。この傾向が今後どのように移行するのかを確認するために、春～秋の期間の調査を行う必要がある。

##### (2) 独自調査

###### 【樋島海岸】

これまでの調査範囲以外に、樋島海岸の調査範囲全体においては「琵琶の首」など流木が集積している場所がある。それらは陸からのアクセスができない場所がほとんどであり、回収は海から船を使用しての作業となる。次回以後、それらの浜の流木回収作業について、安全性も考慮し、場所や作業手順の検討を進める必要がある。

###### 【富岡海岸】

これまでの独自調査でゴミの回収を実施していない海岸、具体的には St.1 の北側の四季咲岬周辺及び St.3 と St.4 の間について、回収作業を行う必要がある。

#### 1.2 流木の処分について

流木の有効利用については、炭化による炭としての利用やチップ化し燃料としての利用等の可能性について検討する。

### 2. モデル調査終了後の継続的な海岸清掃体制等の検討事項

#### 2.1 今後の海岸清掃の体制について

本地域でのモデル調査は次年度で終了となるが、今後も継続的に海岸清掃を行っていくためには、海岸管理者である地方公共団体が地域住民等の関係者と連携して海岸清掃を進めていくことが重要である。

このため、本地域での体制・枠組作りや、効率的・効果的な漂流・漂着ゴミの回収・処理方法について検討する。

#### 2.2 海岸清掃に当たっての清掃員の募集方法について

海岸清掃を継続的に行っていくには、地域住民等からの人員の確保も必要であり、人員を確保する方法について、検討を行っていくこととする。